

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1070101827		
法人名	社会福祉法人 光塩会		
事業所名	グループホーム 菜の花		
所在地	前橋市上増田町1番地		
自己評価作成日	平成23年1月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど		
所在地	群馬県前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル5階		
訪問調査日	平成23年1月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

生活に張りを持っていただくよう、掃除、食事の支度、ゴミ捨て、皿洗い、畑仕事等役割を持ち、今までの生活の延長、楽しく過ごせるよう支援しています。又、入居者の趣味を取り入れたり、楽しめる活動を見つけ、その人らしく安心して過ごせるよう、ボール投げ、卓球、合唱、書道など、色々な楽しみ活動に参加していただいています。天気の良い日は、季節を感じていただき、楽しみながら筋力低下防止、生活リズムを保つよう散歩したり、地域行事に参加し、地域の方々との交流を楽しみに生活していただくよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

清潔感のある共用空間には明るい日差しが差し込み庭には利用者に慣れた犬が飼われている。生活しやすい環境の中でゆったりと一日を過ごす事が出来るホームである。日常的に配膳等で利用者には毎日の役割があり、張り合いとなっている。運動量の確保や精神的な安定のために利用者と職員が2日おきに食材を買いに出かけている。また、庭の畑で収穫された野菜も食卓にあがり、利用者と一緒に調理し、食事作りの支援がされている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域の中で、その人らしく楽しく安心して生活できるよう、関係性の継続、地域生活の継続を理念に入れケアしている。	理念を職員に周知している。理念を基に地域との交流のために老人会・自治会活動に参加させてもらっている。日々の生活の中で明るく楽しく過ごしてもらえるように、本人らしさのポイントを押さえた実践を大切にしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の夏祭り、文化祭、菊花展、敬老会、新年会、等に参加したり、散歩の時など会った方達とは挨拶を交わし、顔なじみの関係を作り、気軽に施設に遊びに来ていただけるよう努めている。	庭の畑は地域の人から野菜の種をいただき、作業に協力してもらった。地域住民の介護に関する相談を受けたり、月に1~2回カラオケや折り紙の地域住民の慰問を受け入れている。地域の人が遊びに来てくれる施設を目指している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	老人会の集まりなどに参加させていただき、介護の問題点や、認知症について相談を受けたり、お話をさせていただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所からの報告とともに参加メンバーからの意見、要望を受け、サービス向上に努めている、また、地域の情報を得て余暇活動などに取り入れている。	2ヶ月に1度定期的に開催されている。市の職員や民生委員、1家族と利用者8名が参加している。日々の活動や状況報告を行っている。民生委員がビーズブレスレット作りを教えてください、サービスに活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	保険申請の代行や、分からない点の確認など、電話や直接行って、協力関係が築けるよう取り組んでいる。	介護保険申請代行や管理者が電話で相談をしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の内容を確認し、拘束の無いケアを目指しているが、職員1人の時間帯や業務の流れによっては玄関の鍵だけは閉めている。	現段階では利用者の身体状況や職員配置等により玄関は施錠している。そのため、2日に1度の買物や畑仕事等で外に出る機会を作っている。職員はマニュアルを使用して身体拘束の勉強をしている。	見守りケアや身体拘束について職員が研修を重ね、施錠しないケアに取り組んでほしい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会等で虐待防止法の理解を深め、また、職員同士であっても見過ごすことの無いよう、注意を払っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自立支援制度や、後見制度などの理解を深め、それに該当するような質問を受けたときは、制度についてお話している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項の説明や、ケアに関する考え方を説明し、理解、納得を得るようにしている。また、随時、質問は受ける旨もその際お話している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族だけでなく利用者も運営推進会議のメンバーに入っており、そこで意見や要望を出してもらっている。また、日頃から話しやすい環境に努め、色々な意見が聞けるよう努め、運営に活かしている。	玄関に意見箱を設置しているが家族からの意見はあまり出ていない。家族の訪問時等を利用して意見を吸い上げている。管理者は家族と交流を持ち意見等が出やすくなるようにと心掛けている。	アンケート等で本人・家族等からの意見を把握する工夫をしてみたいかがか。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃からコミュニケーションを図るよう心がけ、職員の意見要望を聞くよう心がけている。	職員は管理者に自分の意見を話し納得したり、管理者が法人会議に提案したりして、職員の意見が反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、現場に来て、職員の勤務状態を把握し向上心を持って働けるよう配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	現場に来て職員一人ひとりの力量を把握し、その職員に合った研修に参加できるよう配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型連協の研修に参加したり、相互訪問活動を等を行い、サービスが向上するよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で本人の状態や、本人の思いを良く聴き、受け止め安心してもらえるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困っていることや不安、今までのサービス利用状況などを良く聴き想いを受け止め信頼関係を築くよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の要望や状況等を確認して、必要に応じて、出来る限りの対応に努め、場合によっては、他のサービスに繋げるよう対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	調理や畑作業など利用者の得意分野で、利用者に教えてもらう場面作りや、声掛けを行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時に利用者の様子や、職員の意見を伝え、一緒に本人を支えて行くための関係を築くよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人友人が訪問時、継続的な交流が出来るよう働きかけ良い関係が保てるよう努めている。	前に住んでいた施設を訪ねたり、電話や手紙の返信の支援をしている。畑仕事の継続や家族との墓参り等で馴染みの継続支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が楽しく過ごせる時間や、役割活動を通じて良い関係が保てるよう、職員も支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所へ移られた方の所に、利用者と一緒に会いに行ったり、家族からの相談に応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常のケアの中で、希望を伺ったり、言葉や表情などから、意向を把握するよう努めている。	担当制ではなく職員は利用者全員の意向を聞きカンファレンスにかけている。家族の意向は面会時に聞いている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、本人、ご家族から生活歴や暮らし方等を聞き取り、入居後も日々の係わりの中で、話を聞き把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの暮らし方、生活リズムを理解し、日々の暮らしの中で、出来ること、分かることを見つけその人の全体像を把握するよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族から日々の係わりの中で意見を聴き反映させている。また、日常のケアの中での気づき、意見を職員間でカンファレンスし介護計画の作成に活かしている。	月に1回のモニタリングを行い、モニタリングを計画の見直しの目安とし、3ヶ月ごとに現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮らしの様子、気づき、状態変化を個別の介護記録に記入、個別の記録を元に職員間の情報を共有し、介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な場合は柔軟に対応し、個々の満足度を高められるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議等に自治会長、民生委員に参加していただき、意見交換する機会を作っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他に、本人、ご家族が希望するかかりつけ医を受診してもらっている。	希望のかかりつけ医を選ぶことができる。協力病院の受診支援の他に家族が付き添えない場合には施設が支援している。インフルエンザの予防接種時には協力医の往診がある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康面での疑問や、不安を感じたときは、協力病院の看護師や、関連施設の看護師に協力、指示を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医師、看護師、相談員、ご家族と情報交換や話し合い、退院後の準備を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合について入居時に説明を行い、状態の変化がある毎に本人、家族の意向を確認し支援に繋げている。また、医師、看護師等と連携を取り、事業所の出来ないことを職員間で話し合いながら支援に取り組んでいる。	入居時に看取りの支援はまだ行っていない旨を口頭で説明しているが文章化には至っていない。退去時の他施設移行の支援をしている。今後希望があれば看取りについて話し合いを行っていくことを考えている。	施設の出来ること等の説明を文章で提示できるように重度化・終末期に向けた施設の方針を作成してほしい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	心肺蘇生やAEDの講習を受けたり、緊急時の対応マニュアルを活用し緊急時に備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	設備の点検整備を定期的に行い、避難訓練を利用者と共に年2回行っている。また、地域の方にも地域協力員として非常時は協力体制を整えている。	屋想定での通報・避難・消火訓練と消防署立会の下での総合訓練を年に2回行っている。備蓄の準備はまだしていない。	年に2回の訓練の他に事業所独自の訓練を利用者と職員で行い、避難技術を見に付けてほしい。備蓄の準備も検討してほしい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の係わりや、毎日のミーティングで確認しながら、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねない言葉掛けや対応を行っている。	排泄時の声かけ等は職員同士共有し、利用者の個性に合わせた声かけ支援をしている。持っている力に応じたテーブルの着席配置や職員の配置を行っている。家族の来訪時は家族の希望を優先し居室での面会等の配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	時々食事メニューを入居者と一緒に決めたり、毎日の楽しみや活動で、やりたいことを決める場面を作ったり、運営推進会議で希望を聞き出すようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調や希望に配慮し、入居者のペースに合わせてケアしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりの生活習慣に合わせて支援している。行事等の時はおしゃれが楽しんでもらえるよう言葉かけをしている。また、月2回訪問美容室が来ており、希望に応じて利用したり、家族と一緒にかかりつけの美容院に行くこともある。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と一緒に買い物に行ったり、メニューを決めたり、調理、盛りつけ、片付け等を行い、食事が楽しみの場になるよう支援している。	近くのスーパーに2日に1度買物に行き、配膳や食事作りを手伝ってもらい、職員と利用者が一緒に手作りの食事を摂っている。庭の畑の野菜が食卓にあがっている。夏祭りのお楽しみ食や年越しそば、お節料理等で季節を感じてもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の嗜好を考慮しながら提供を行い、水分や食事の摂取量を記録にのこし対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛け、見守り、介助を行っている、就寝前は義歯の洗浄、見守り、介助を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用しながら排泄のリズムやサインをつかみ、トイレで排泄出来るよう支援している。	排泄チェック表を用い、声かけで自立支援をしている。紙おむつ等は施設がまとめて購入し処分料の説明をしている。昼は使用量が張らないように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防に向けて、乳製品や繊維質の多い食材を取り入れている、また、体操、家事活動、散歩等適度な運動をする機会を作り、自然排便を促すようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回の入浴の他に必要に応じて入浴や足浴を行ったり、入浴を拒む人には職員を変更したり、言葉掛け、様子、タイミングに注意しながら対応している。	失禁等があれば入浴・シャワーで清潔を保っている。基本的には週に2回だが希望があれば毎日でもお風呂に入ることが出来る。月曜から土曜日まで入れる体制がある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来るだけ日中は運動、散歩等の活動を促し、夜間眠れるように配慮している。眠れない利用者にはお茶を勧めたり、少しの間一緒に話をするなどしてから入眠を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、薬の内容説明で内容を把握できるようにし、服薬時は本人に手渡したり、食事のお盆の上に名前を呼びながら置き、服薬管理をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除、ゴミ捨て、食事作り、皿洗い、おやつ作り、畑仕事など、入居者の力を発揮できるような場面を作ったり、ドライブ、買い物、散歩、歌、書道など楽しみごとが見つかり気張らしが出来るように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気や本人の希望に応じて、散歩や買い物に行ったり、リンゴ狩りや、踊りの見学、花見などの支援を行っている。	日常の食材や利用者の日用品を買いに行ったり、ドライブや花見等で外出の機会を作っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族より預かっているお金を、買い物、外出時に渡して支払っていただくよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話対応や、年賀状など今までの繋がりを大切に出来ように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	絵、観葉植物、花を飾ったり、正月やお雛様など季節の飾り付けを行い、家庭的な雰囲気作りをしている。	共用空間のはきだしの広い窓からは畑や果物の木、犬が見え、明るい光が差し込んでいる。ソファ・テレビ、テーブルが2つに分かれている。季節の花や時節の設えがされていて、利用者の作品(お習字・ぬり絵・工作品等)が飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にダイニングテーブルやソファを置いたり庭にベンチを置き、気のあったか他同士で、思い思いに過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具、好みの物や、馴染みの物、写真等をお持ちいただき、安心して心地よく過ごせるようにしている。	居室にはベッド・洗面台が備え付けられている。テレビやCDカセット、文芸春秋等の雑誌、お位牌、身の回り品が置かれ、明るく過ごしやすい。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの、出来ること、分かることを日々の暮らしの中で見極め、危険な物品は移動したり、入浴時は滑り止めを使用するなど配慮している。		